

(様式1)

令和4年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県水墨美術館 県文化振興課

2 施設所在地
富山市五福777

3 施設設置年度
平成11年度

4 設置目的
日本の風土と伝統の中で育まれた水墨画等の文化的所産を紹介し、県民の教養の向上及び文化の発展に寄与することを目的とする。

5 施設概要

①建物の構造	鉄筋コンクリート造、寄棟造り日本瓦葺平屋建
②敷地面積	14,547㎡
③建物面積	3,456㎡
④施設内容	常設展示室 298㎡ 企画展示室 576㎡ (288㎡×2) 映像ホール 131㎡ 図書室・情報コーナー 54㎡ 茶室寄せ棟造り日本瓦葺平屋建延面積 81㎡ 庭園 約8,700㎡

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
5年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人)

H30	R1	R2	R3	R4
143,271	108,356	25,723	67,461	81,359

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H30	R1	R2	R3	R4
12,192	14,442	4,719	6,068	7,963

【参考】利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H29	H30	R1	R2	R3
-	-	-	-	-

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

令和4年度の利用者数は81,359人で、令和3年度67,461人の120%と増加した。新型コロナウイルスで極端に利用者が減った令和2年度から回復傾向にあるが、コロナ発生前の令和元年度と比較すると75%であり、復調したとは言い難い。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・障害を持つ方や高齢者などすべての来館者に快適なサービス(ユニバーサルサービス)を提供するため、サービスケアアテンダント資格を有する職員を配置し、利用者に優しい運営を心掛けている。
- ・平成29年度から観覧料のキャッシュレス決済(クレジットカード・電子マネー・二次元コード決済)に対応し、利用者の利便性を高めている。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

- ・平成30年度からコンビニエンスストアで決済と発券ができるチケット販売システムを活用し、観覧前売券を販売している。
- ・「富山で休もう。富山観光キャンペーン」事業に参加し、クーポンによる観覧料支払いに対応している。
- ・「南画×近代」展(11/18～1/15)の会期中に、コロナワクチン接種証明証等の提示で、観覧料が2割引きとなる「イベント割」事業に参加した。
- ・夜間の開館延長(18～20時)により、当館中庭にあるシンボルツリーのベニシダレ桜(とやま桜の名所70選に選定)のライトアップを実施した。
- ・エントランスホールにおいて、ミュージアムコンサート(室内楽)を開催した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	・実施期間 通年 ・実施方法 企画展示室前にアンケートボックスを配置し、観覧者に協力を呼び掛ける。
回答者数	881名
結果	総合的な感想：良い77%、普通21%、不満2%
結果を踏まえた改善事項	コロナ禍で観覧制限がある中、来館者の苦情や疑問に、スタッフ全員が誠実に対応し、気持ちよく観賞していただけるよう心掛けている。

② その他利用者の声を反映させる取組み

来館者や県民から寄せられる要望や苦情などについて、スタッフ全員が共有し、解決策を協議・検討し、美術館運営に活かすよう心掛けている。

③ 主な苦情と対応

東西の駐車場入り口付近に設置してある施設案内塔が日焼けにより劣化して水墨美術館の表示が判りにくく見苦しいとの苦情があり、案内塔のシールを貼り直す改修を行った。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報保護規程を定めて職員に周知を図り、適正に個人情報を取り扱っている。

(6) 関係団体との連携

水墨美術館友の会が主催する「ワンコインコンサートと納涼花火観賞の集い」の開催に当たり、ワンコインコンサートの出演者のアテンドから舞台設営・運営まで一貫して協力した。

(7) 施設・設備の維持管理

・職員による日常点検と専門業者による保守点検を実施している。故障等の問題が発生した場合には迅速に修繕し、来館者に快適な鑑賞空間を提供している。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・非常時のマニュアルや連絡表を作成して、防災訓練を実施した。
・消火器や防災扉、避難通路など日常点検を実施した。
・新型コロナウイルス感染症対策として、来館者に向けて館の取り組みの案内、職員・従業員へ感染予防対策の周知徹底、検温器・消毒アルコール液、アクリル板等の適所設置、不特定多数が触れる場所のアルコール消毒作業などの対策を実施した。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	3
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・新型コロナの規制が徐々に緩和され、コロナ以前の状況に回復することを期待しつつ、指定管理者には、今後より一層利用者サービスの向上に努めていただくとともに、ミュージアムコンサートなど賑わいづくり事業の開催を通して、リピーターの回復、新規利用者の獲得につなげてもらいたい。
・設置から24年が経過し、施設設備の老朽化も進んできている。施設の運営に支障が生じないように、保全方法と改修計画について県と協議をしながら対処に当たってほしい。